

千葉大学医学部附属病院にて頭頸部の皮膚有棘細胞で 受診された方へ

2026年6月4日

皮膚科

皮膚有棘細胞癌は、皮膚に発生する悪性腫瘍の一つです。頭頸部の皮膚有棘細胞癌では、がんを十分に取り切るために手術が行われますが、眼瞼、鼻、口唇、耳介などの重要な部位に近い場合、広い範囲の切除や再建手術により、機能面や整容面への影響が問題となることがあります。

S-1 は内服の抗がん剤であり、皮膚有棘細胞癌に対して腫瘍を小さくする効果が報告されています。当科では、局所進行頭頸部皮膚有棘細胞癌に対して S-1 を投与した後に手術を行った方の診療情報を用いて、S-1 投与により腫瘍がどの程度縮小したかを調べる研究を行うことにしました。本研究では、腫瘍面積の縮小率を手術侵襲軽減の近似的な指標として用い、S-1 投与が外科治療の低侵襲化につながり得るかを検討します。この研究では新たな検査や治療は行わず、通常診療で得られた既存の診療情報等を用います。

つきましては以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020 年 4 月 1 日～2026 年 4 月 31 日までに当院皮膚科を受診し、頭頸部皮膚有棘細胞癌の診断を受け、S-1 投与後に手術（外科的介入）を受けた方

1. 研究課題名

「局所進行頭頸部皮膚有棘細胞癌に対する S-1 投与後手術侵襲軽減の検討」

2. 研究期間

2026 年承認日～2028 年 3 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の

許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

当科を受診した局所進行頭頸部皮膚有棘細胞癌のうち、S-1 投与後に手術を受けた方の下記診療情報を収集します。S-1 投与前と手術前の腫瘍の大きさを比較し、腫瘍面積の縮小率を算出します。この腫瘍面積縮小率を手術侵襲軽減の近似的な指標として用い、S-1 投与が外科治療の低侵襲化につながり得るかを後方視的に検討します。あわせて、手術方法や治療効果、有害事象、再発や生存に関する情報についても調べます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、全身状態、病期、既往歴、併用治療の有無、S-1 の投与量・投与スケジュール・投与期間、手術方法、腫瘍の大きさ、腫瘍の顕微鏡の所見、治療効果の割合、副作用、再発・生存に関する情報

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：皮膚科（教授）猪爪隆史

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院皮膚科の鍵のかかる保管庫で厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

ご希望があれば、本研究について他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 皮膚科

教授 猪爪隆史

連絡先：〔TEL〕 043-222-2505

〔FAX〕 043-222-2128